

第56回新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事概要

- 1 日時：令和4年3月18日（金） 14時10分～14時30分
- 2 場所：本庁3階 第三会議室
- 3 出席者：資料席次表参照
- 4 議事概要

[市長]

本日の岡山市の新規感染者は193人。減少傾向にあるものの緩やかな減少にとどまっている。

本日は、今後の対応について協議を行いたい。

(1) 新型コロナウイルス感染状況等について【保健福祉局】

[感染症対策担当局長]

・感染状況・療養状況の分析

3月13日時点の状況。多数の感染者がまだ発生しており、最大限の警戒が必要。先週に引き続き、1週間あたりの感染者は減少しているが、ほぼ横ばい。1週間平均では216.1人の届出。

感染者の療養状況については、減少スピードが大変緩やかで、高止まりの状況。療養者も1500人程度で下げ止まっている。入院患者はピーク時の約4分の1程度に減少した。

・感染者の年代比較

1週間毎のデータ。感染者の全体数は減少しているが、6～15歳への感染割合が高く、高齢者への感染割合は減少している。

まん延防止等重点措置が解除され、人流増加が起こっている。20代、30代の感染者の増加に注意が必要。これまでも、20代、30代が感染し、家庭内に持ち込むことで、年少者や高齢者へ感染が拡大した傾向がある。家庭にウイルスを持ち込まないよう、引き続き、基本的感染防止対策を徹底してもらいたい。

・応援フェーズ

現在、保健所の応援フェーズはVとなっている。BCPは現在も継続中ではあり、他の部署からは、引き続き応援いただくこととなるが、ご協力よろしく願います。

・自宅療養者の健康観察の変更

これまで、自宅療養者への健康観察は、保健所が原則毎日行っていた。国は、感染力が強く軽症者が多いというオミクロン株の特徴に鑑み、重症化リスクの高い陽性者の健康状態を重点的に確認することや、健康観察を行う医療機関を拡充していくよう方針を示している。これを受け、医療機関の協力の下、自宅療養者への健康観察は、4月1日の届出以降、原則、陽性者のPCR検査を実施した医療機関が行う。健康観察の頻度は、陽性者の病状や年齢、基礎疾患の有無、同居家族の有無などを基に、各医療機関が決定する。

例えば、一人暮らしの高齢者には毎日行う。若い軽症者で同居家族がいる場合には、体調に変化があった場合に本人や家族から医療機関に連絡するよう、あらかじめ説明しておき、医療機関から連絡は行わない場合などが考えられる。医療機関が健康観察を実施できない場合は、引き続き保健所が行う。

陽性者の病状等に応じて健康観察の頻度が変わるが、これまでどおり、不安な場合や相談があれば、岡山市受診・相談センターに連絡いただきたい。

・医療機関での書類の配布

PCR 検査を受けた方に、仮に、陽性となった場合にどのように連絡が入るか、また、同居家族の方はどうすればよいのかの概略を記載した書類を、医療機関で配布してもらう。陽性者本人には、医療機関からの健康観察の他、保健所からの連絡も必ず入る。同居家族の方には、自宅待機をお願いする。

・濃厚接触者の特定について

濃厚接触者の特定や待機期間について、改めて、国から通知があったのでお知らせする。濃厚接触者については、岡山市の対応として、大きく4つの区分で対応することとされている。

(1) 同一世帯内に感染者が発生した場合、同居家族の方については、原則、濃厚接触者として、外出自粛を要請している。

(2) 通常の仕事、事業所で感染者が発生した場合、保健所では濃厚接触者の特定は行っていない。発熱等の症状が出た場合は、会社を休み、医療機関の受診をお願いする。

(3) 医療機関や高齢者施設等で感染者が発生した場合は、濃厚接触者を特定し、必要に応じてPCR 検査を行っている。

(4) 学校・保育園等の場合は、濃厚接触者の特定は行っておらず、感染者が発症時に登校登園していた場合、4日間の学級閉鎖、家庭保育の依頼などで対応している。今回の国の通知の内容は、すでに岡山市において対応しているものであり、市の対応についての変更はない。

・濃厚接触者の待機期間について

濃厚接触者の待機期間については、これまでに比べ2点変更がある。

1つ目、抗原検査キットを用いて、4日目及び5日目に陰性確認をした場合の5日目の復帰について、これまでは社会機能維持者だけとされていたが、それ以外の方にも適用できることとなった。

2つ目、高齢者施設など重症化リスクの高い方が多数入所する施設、学校園等の従事者については、他の従事者との代替が困難であることやワクチン接種済であること等の一定の条件下、無症状の従事者について、毎日、抗原定性検査キットを用いた検査により、陰性を確認した場合、業務従事が可能となった。いずれの場合も、抗原検査キットによる検査は自主検査として、実施する方の費用で行うこととなっている。

・3月16日付け、厚労省通知

厚労省通知資料の一部を参考として添付している。

・ワクチンの3回目接種の状況について

3月15日までに接種券を送付した人が、35万9000人、そのうち追加接種完了が、3月15日時点で24万8000人、これは接種券送付済みの69.2%、12歳未満を含む市内全人口の35.2%に当たる。

高齢者では、接種券送付済みの88.2%、市内の高齢者人口比率では78.1%の方の接種が完了しており、希望する方への接種は順調に進んでいると考えている。

・市の集団接種会場と、今後の接種券送付について

市の集団接種会場は3月24日（木）から岡山高島屋会場で再開する。現時点では、まだ、毎日100枠以上の空きがあるので、積極的な接種をお願いします。また、空き枠を活用した予約無し接種も行っている。当日の空き状況をホームページなどでご確認の上、ご活用いただきたい。

今後の接種券の送付予定については、64歳以下の方が中心となる。接種券が届き次第、予約・接種が可能となる。

・小児接種について

先週の3月11日から接種を開始し、3月15日までに371人が接種。医療機関へのワクチン配送量から推計すると、24日までに約2,600人が接種を受ける見込み。

予約開始直後、小児科等の医療機関が当初設定していた予約枠がほぼ埋まったことから、希望者への接種が順調に進むよう、医療機関に対して春休み期間を中心とした予約枠の拡大等と呼び掛けたところ。接種するかどうかについてはご家庭でよくご検討いただきたい。

[保健所長]

多大な協力をいただいている各局にお礼を申し上げます。

現在、幸い患者数は順調とは言えないものの減少傾向にある。まん防終了後、今週のアドバイザリーボードに示された岡山市の人流、滞留人口は著しい増加を示しているため、今後も患者の増減について、注視してまいりたい。引き続きご支援をお願いします。

(2) 学校教育活動・学校施設開放事業について【教育委員会】

[教育長]

現在の岡山市の感染状況の中で、感染者数が減少傾向にあり、児童生徒においても同様の傾向が見られることから、3月19日以降の学校教育活動・学校施設開放事業について以下の点について変更するもの。

・学校教育活動について

休止していた部活動については、異年齢の交流の中で授業や学校行事などでは得られない貴重な体験ができたり、生徒同士や教員と生徒の人間関係の構築が図られたりするなど多

くの教育的意義がある。したがって、現在感染者数の減少傾向にあることから、活動する範囲を原則校内として再開することとする。

ただし、活動を休止していた期間が長期であったため、当面の間は、十分な準備運動を行うとともに、体への過度な負担がかかる運動を避けたり、短時間の活動としたりするなど、けがや事故防止のための対策を十分とった上での、活動再開とする。

校内での活動となるが、これまで同様に上位大会につながる公式戦や大会への参加については、主催者の感染防止のためのガイドラインを遵守するとともに、感染防止対策を講じた上で可能としている。

・学校施設開放事業について

部活動の再開に伴い、中止していた学校施設開放についても、再開することとする。

・継続する取り組み

授業における感染リスクの高い学習活動を行わないことや、学校行事等の延期または中止については、今後も当面の間継続することとする。

「家庭への協力をお願い」についても継続する。

(3) 路線バス・路面電車の運賃無料 DAY について【都市整備局】

[都市・交通・公園担当局長]

昨年の11月28日(日)と12月10日(金)に実施した路線バス・路面電車の運賃無料 DAY については、年度内に3回目の実施を検討していたが、新型コロナウイルスの新規感染者数は減少傾向にあるものの、依然として高い水準にあることから、今年度の実施は見送ることとした。

運賃無料 DAY については、2回の実施を通じて、公共交通の利用者数が休日で2.4倍になるなど大幅に増加するだけでなく、天満屋や高島屋といった大型商業施設の来店者数が前年同期比で約40%増加し、中心部の通行人数や滞在人数も増加するなど、中心部全体で回遊性が向上し、消費需要の喚起に寄与する施策であることが確認できた。

こうしたことから、運賃無料 DAY の実施については、来年度、改めて検討していきたいと考えている。

5 本部長まとめ

新規感染者数は減少傾向だが、オミクロン株は感染拡大の速度が非常に早いことから、減少スピードが緩やかで、高止まりの状況にある。今後、人流増加に伴う、感染者の再増加に警戒が必要である。

国の専門家会議では、オミクロン株の特性を踏まえ、効率的な保健所業務の実施や、対策の最適化が求められている。

また、多くの自宅療養者を適切に医療につなげていくには、健康観察・診療を継続して行う体制

を構築することも重要である。

このため、これまで保健所が原則毎日行っていた自宅療養者への健康観察を、原則、医療機関が行うこととした。医療機関が健康観察を実施できない場合は、保健所が引き続き行う。

陽性者の病状等に応じて健康観察の頻度が変わるが、これまでどおり、不安な場合や相談があれば、岡山市受診・相談センターにお問い合わせいただきたい。

国から濃厚接触者の特定範囲等が示されたが、すでに岡山市においては運用中のものであり、引き続き、重症化リスクの高い方を優先的に対応していく。

ワクチン接種については、3 回目接種は順調に推移しており、高齢者の8割弱の接種が完了した。今後は64歳以下の方の接種が中心となってくる見込みである。市の集団接種会場では、空き枠を有効活用するための予約無し接種をこれからも続けていく。

5歳から11歳の小児接種は3月11日から接種を開始し、3月15日までに接種した人は371名。24日までに約2,600人が接種を受ける見込みである。

当初設定していた小児接種の予約枠がほぼ埋まったことから、接種希望者への接種が円滑に進むよう、医療機関に対して予約枠の拡大等と呼び掛けるところ。引き続き、接種するかどうかについてご家庭でよくご検討いただきたい。

休止していた部活動については、授業や学校行事などでは得られない貴重な体験や人間関係の構築が図られたりするなど、子供の成長に関わる多くの教育的意義がある。感染者数も減少傾向にあることから、3月19日（土）から、原則校内の活動として、再開する。

併せて、学校開放事業も同日から再開する。

感染が収まりきらない状況の中、明日からの3連休、そして年度末から年度初めにかけて、卒業式・春休み・お花見等、人の動きが増え、人が集まる機会が増える時期を迎える。

市民の皆様には、外出の際は、混雑した場所や換気が悪く大人数・大声を出すような感染リスクの高い場面・場所を避けていただくとともに、重症化予防・発症予防、さらに周囲の人々への感染を防ぐため、ワクチンの追加接種を早めに済ませていただくようよろしくお願いいたします。